

## 2. 沖縄県におけるニホンイタチの導入状況

### 2.1 イタチ導入履歴の文献の整理

イタチの導入履歴について文献調査を行い、引用文献を下記に示した（表2-1）。今回、収集した文献は沖縄県におけるイタチ導入記録に関する主な文献と考えられる。

表 2-1 収集文献

No.	文献名	著者名	冊子名	発行年	ページ
文献1	イタチによるネズミ駆除とその後	白石 哲	採集と飼育	1982	414-419
文献2	野鼠駆除対策状況	宮良安正	琉球政府植物防疫行政のあゆみ	1972	294-299
文献3	野鼠の天敵としてのイタチの導入記録	伊波興清	沖縄農業	1966	45-53

### 2.2 イタチの導入状況

上記の文献により、イタチの導入数の整理を行った（表 2-2）。導入数や導入年は文献により異なる数値がみられ、文献 2 と 3 にのみに雌雄別の記載があった。

これらの文献により、沖縄県の 21 の島に導入された記録があり、導入年は 1957 年から 1971 年となった。導入数は 2 文献で約 12,000 頭となり、各島の最大の導入数でみると、12,232 頭となった。対象の数の違いがあるが、大よそ 12000 頭前後のイタチが導入されたと考えられる。

島別の導入数をみると、宮古島が 3,204 頭と最も多く、次いで石垣島の 3,097 頭、久米島の 1,057 頭となり、最低は阿嘉島と慶留間島の両島で 43 頭となった。

雌雄別の導入数をみると、記録の多い文献 2 では雄が 10,405 頭、雌が 1,579 頭と雄の導入数が多い結果となった。

なお、阿嘉島と慶留間島及び伊良部島と下地島に関しては、2 島を合わせた導入数の記録となっていたため、そのままのデータで取りまとめた。

表 2-2 文献によるイタチの導入年と導入数

No.	島名	文献1		文献2			文献3				最大導入数	
		導入年	導入数	導入年	雄	雌	導入数	導入年	雄	雌		導入数
1	伊江島	1966	360	1966 1967	296	64	360	1966	105	46	151	360
2	伊平屋島	1967 1968	472	1968	427	45	472					472
3	伊是名島	1969 1971	806	1970 1971	685	121	806					806
4	座間味島	1957 1958	40					1957 1958	63	20	83	83
5	阿嘉島	1957 1958	43									43
6	慶留間島	1957 1958	43									43
7	久米島	1965 1970	1,057	1968 1969	919	134	1,053	1965	4		4	1,057
8	渡名喜島	1969 1971	123	1970 1971	110	13	123	1965 1966	107	21	128	128
9	南大東島	1966 1967	481	1966 1967	416	65	481	1966	128	29	157	481
10	北大東島	1965 1967	178	1966 1967	146	32	178					178
11	宮古島	1967 1971	3,204	1976 1971	2769	435	3,204					3,204
12	伊良部島	1966 1968	319	1967 1968	613	119	732					732
13	下地島	1966 1968	319	1967 1968	613	119	732					732
14	来間島	1966 1967	70	1967 1968	47	23	70					70
15	池間島	1967 1968	62	1967 1968	55	7	62					62
16	多良間島	1967 1968	472	1967 1968	396	76	472					472
17	石垣島	1965 1971	3,097	1966 1971	2759	338	3,097	1965 1966	764	106	870	3,097
18	西表島	1966 1968	319	1966 1968	288	31	319					319
19	小浜島	1966 1968	207	1967 1968	180	27	207					207
20	波照間島	1966 1968	348	1967 1968	299	49	348					348
21	竹富島	1965 1966	113					1965 1966	105	8	113	113
計		1957 1971	11,771	1966 1971	10,405	1,579	11,984	1957 1966	1,276	230	1,506	12,232

赤字は最大導入数に採用したデータ

## 2.3 宮古諸島におけるイタチの定着情報整理

イタチの定着状況について収集整理を行い、下記に収集した資料を示した（表2-3）。

表 2-3 収集資料

No.	資料名
1	国立環境研究所 HP 侵入生物データベース <a href="https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/10320.html">https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/10320.html</a>
2	環境省那覇自然環境事務所パンフレット 宮古諸島の外来種 <a href="https://kyushu.env.go.jp/naha/wildlife/data/130902ac.pdf">https://kyushu.env.go.jp/naha/wildlife/data/130902ac.pdf</a>

沖縄県宮古島及び周辺離島（池間島、伊良部島、下地島、来間島、大神島）において、イタチが定着済みの島は宮古島、伊良部島、下地島の3島、池間島は自動撮影で1回撮影、糞が2か所で採集されたが、糞探索犬での全域調査では糞が発見できず、繁殖個体群は存在せず、放浪個体などが宮古島から来ている可能性が考えられた。未定着と考えられる島は来間島及び大神島となっている（図2-1）。

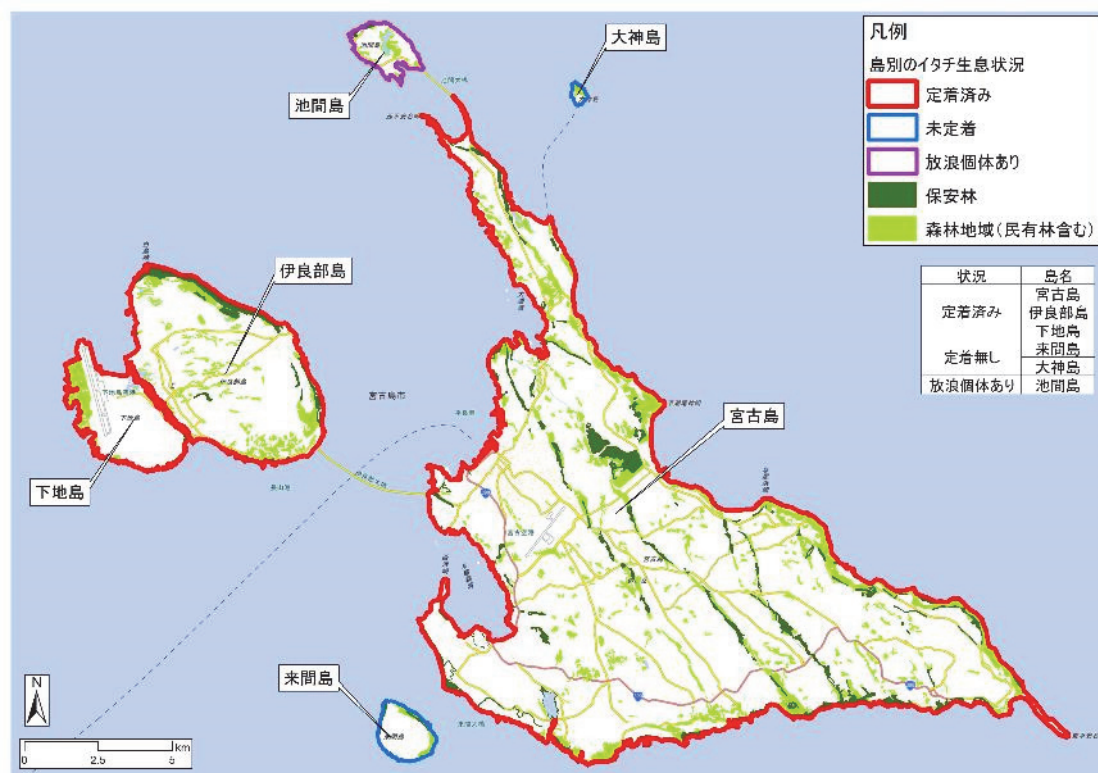


図 2-1 イタチの定着状況